東北實業新聞

發行日　五日、十五日、廿五日
定價　一部十錢　一ヶ月廿錢
郵税共　半ヶ年一圓廿錢　一ヶ年二圓四十錢
代用增
廣告料　（普通欄十二詰一行一圓　特別欄金一圓五十錢）
福島石城郡平田町三六　印刷所　一〇活版所
福島縣石城郡平町字長橋町三〇　發行所　東北實業新聞社
發行兼編輯人　吉村松三郎

鎖夏號

三伏の苦熱を何處に避けませう？

避暑地に對する條件

綠蔭の少い塵煙の都が衛生的でないことは今更說くまでもない、キラ〳〵と照り返される瓦やトタン屋根の反射線の下に、夏季の苦熱と戰ふ事が如何に堪へ難いことであるかは年々何れも苦い經驗を味はつて居るから、今年は早くも東京方面からも多數の客足を見せて居る、各銀行、會社等も思ひ〳〵に頭を絞つて汗まみれの勤め人に暑熱を忘れさせる休養の企てが行はれてゐる、一般家庭などでも折角子女の學校が休暇になつて適當の避暑地を求めないでは徒らに暑熱に苦しむだけで何もならない、何處か適當な、休養、慰安の地がないだらうかとは、誰でも望んでゐるところである、それでは適當なる避暑地は甚麼なものかと言へば、先づ第一に氣候が好くて風光が明媚でなくてはならないが、その外に交通の便否設備の有無、物價の低廉などといろ〳〵の方面に就て研究する必要がある、從來都市の人士が避暑の好適地としてゐたのは湖南、箱根地方であるが、凡ての設備や制度が貴族的になり過ぎて一般民衆慰安の目的は副はぬものが多いので數年來遽かに磐城海岸へ出掛ける人が多くなつた殊に最近交通の便が非常に好いのと一般に物價が低廉なので、學生やサラリーマンなどの比較的永く滯在する客が多い各種學校の水泳部や臨海學校等も設けられるのでも物價の安いことや風紀衛生上良いことが證明される。

繪のやうな小名濱の風光

海水浴場としては天下に稀な絕好地

常磐線泉驛から三十丁自働車やガソリン軌道の便がある當地の消防團や青年團は全力を盡して避暑客の便を圖つて居る海岸に出づれば南は渺茫たる太平洋、西は磯原の二タ見の風景を眺め平驛より鐵路東に走り鎌田山のトンネルを出で草野驛に至り四ッ倉にと進行すれば絕勝佳景は事窓應接に遑がない四ッ倉驛に着けば自働車人力車が客を迎えて遣憾なく海水浴場に到れば脫衣場や其他の設備が完備して居る、海底は美しい小砂ばかりで少しも危險がなく、且つ遠淺なのと汐の滿干も何人も其快味に醉ふのである、殊に全町擧げて斡旋する程だから暴利を貪るやうなことなく日歸りの客も或は永く滯在するのでも安心して慰安避暑の目的を達することが出來る。

緩やかなので海水浴場としては天下稀に見る絕好の地である、白帆夕陽に映ゆる其風光は眞に一幅の畫の樣である、商家は軒を並べ市街を整頓し日用品の調達などは何の不便もない旅館も多數あるが尙ほ永く滯在するには民家の間借りをして自炊生活をするのも面白い水泳教師を聘して一般に無料教授を始めて居る。

海を知らぬ海國兒だちへ

爽快で危虞のない四ッ倉海岸をお奬めする

株式會社磐城銀行
第六拾壹期營業報書告
貸借對照表

資產ノ部

貸付及貸越金	四、六八五、六二九、二五
割引及荷爲替手形	六六二、三〇八、九八〇
他店ヘ貸	三八、四三一、二三〇
有價證券及諸株式	五〇三、七九五、五〇〇
營業用土地建物什器	八六、七〇二、一五〇
所有動產不動產	八九、六九〇、五五〇
雜勘定	一七、一〇八、三〇〇
預ケ金及現金有高	三四二、一六三、六〇九
合計	六、四三五、八二九、三三四

負債ノ部

資本金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	四六八、六二〇、〇〇〇
諸預リ金	三、八五七、〇〇二、七〇九
日本勸業銀行及同興業銀行借入金	一、六五四、八〇〇
他店ヨリ借勘定	二〇〇、三四一、九四〇
再割引手形	九五、〇〇〇、〇〇〇
未拂配當金	八七九、〇〇〇、〇〇〇
未拂利息及未經過割引料	一、九五六、六六五
本支店未達勘定	五四、〇九〇、二六〇
當期純益金	一〇三、二三四、八八〇
合計	六、四三五、八二九、三三四

利益金勘定

一金拾萬參千貳百參拾四圓八拾八錢	當期利益金
內金貳萬圓	特別積立金
金參千圓	行員退職給與金
金參萬參千七百五拾圓（年九分）株主當配金	
金四萬參千四百八拾四圓八拾八錢	後期繰越金

右ノ通リ二候也
大正十五年七月十八日
福島縣石城郡平町三丁目六番地
株式會社磐城銀行
專務取締役　白井一郎
取締役　白井博之
同　安島重織
同　山崎與三郎
同　諸橋久太郎
同　草野順平
同　高岡唯一郎
監査役　小野晉平
追テ監査役任期滿了ノ處何レモ再選重任ス

株式會社磐城銀行
第五期營業報告
大正十五年六月卅日現在
貸借對照表

資產ノ部

拂込未濟資本金	七九八、六二五、五一〇、〇〇〇
諸貸付金	九六二、九七〇、〇〇〇
他店ヘ貸	五、三六一、二〇〇
有價証券	二、九一〇、八三五
營業用什器	一三〇、〇七〇
預ケ金	二七、五九六、二四〇
現金	九一三、五八七、六二五
計	七九八、六二五、五一〇、〇〇〇

負債ノ部

資本金	三〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	二〇、九〇〇、〇〇〇
諸預リ金	二三四、七二二、二〇〇
他店借入金	九三三、一九〇
未拂配當金	一五〇、〇〇〇、〇〇〇
コールマネー	二、三八、三八二、三〇〇
未經過割引料	一、八三五、二七五
當期純益金	二〇四、八八〇
計	七九八、六二五、五一〇、〇〇〇

利益金勘定

當期利益金	三、六二一、七八〇
之ヲ處分スルコト左ノ如シ	
法定準備金	一、五〇〇、〇〇〇
賞與金	九〇〇、〇〇〇
配當金（年七分六厘ノ割）	八、四三六、〇〇〇
	一、七七〇、七八〇

後期繰越金
右ノ通リニ候也
大正拾五年七月廿日
株式會社磐城實業銀行
取締役　馬目太平
頭取　鈴木辰三郎
專務取締役　鈴木喜太郎
取締役　太平睦四郎
同　叶多鋒治
同　白井一郎
同　蘭田喜藏
同　岡田次作
監査役　阿部太平
同　鈴木松之助
同　金成通
相談役　中野浩忠
同　飯田一二

第十三期營業報告
大正十五年六月三十日現在
貸借對照表

資產之部

拂込未濟資	二、一五〇、〇〇〇、〇〇〇
線路屋內工作物	四七八、五七八、二九
機械器具貯藏品	三五、九九五、五六
土地建物什器	三一、四三三、一九
有價證券	一八、一〇〇、〇〇〇
假拂金及受取手形	三六、二四四、三七
未收入金	五二、六五
未經過保險料	五二、六二
第一發電所勘定	九八五、〇〇〇、〇〇〇
第二發電所勘定	一〇七、四四一、七二
發電所勘定	一二四、七五七、七四
預ケ金及現金	四五、一二一、七三
計	四、一〇三、二三六、〇〇〇

負債之部

資本金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	八三、一〇五、〇〇〇
假受金	六、八九六、四三
社債及借入金	九〇〇、〇〇〇、〇〇〇
未拂金	六、三六六、一〇〇
未拂配當金	二四、一三
當期利益金	九二三、五八七、六二五
合計	四、一〇三、二三六、〇〇〇

利益金處分

當期利益金	一〇六、六二四、三五
財產減價鎖却	一〇七、四二四、八五
	一二〇、〇〇〇、〇〇〇
社債利子引當	八、四三七、五〇〇
諸積立金	四、〇〇〇、〇〇〇
役員賞與金	四、五〇〇、〇〇〇
株主配當金、年一割二分）	四五、〇〇〇、〇〇〇
	二五、四八七、三五

後期繰越金
大正十五年七月
植田水力電氣株式會社
取締役　金成通
社長　安島重三郎
取締役　白井博之
同　高岡唯一郎
同　小林藏次
同　古川傳一
同　馬上誠一
同　根本祐太郎

第五期營業報告
大正十五年六月卅日現在
貸借對照表

資產ノ部

拂込未濟資本金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇
貸付及貸越金	三、九三二、四九二、四八〇
割引及荷爲替手形	一四六、九四二、六三〇
他店ヘ貸	四九、九八八、六七〇
有價証券	二〇、〇〇〇、〇〇〇
營業用什器	六六六、九六六、二五〇
預ケ金	五六、〇七一、一七〇
現金	四三、四八五、八〇〇
計	三三五、三三五、四八〇

負債ノ部

資本金	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	四四七、五八〇、〇〇〇
諸預リ金	三、四八七、七六〇、〇九〇
他店借入金	四〇、八一、六五〇
未拂配當金	二三五、〇〇〇、〇〇〇
未經過割引料	一、一六一、五〇〇
當期純益金	四五、七九〇
計	四三七、二四〇

利益金勘定

當期利益金	七六、七八二、九八〇
之ヲ處分スルコト左ノ如シ	
金貳萬五千圓也	諸積立金
金參千五百圓也	重役賞與金
金參萬參千七百五拾圓也	配當金（年九分）
	三、一六七、二三〇
	八八、六五五、〇〇〇
	五、八八一、一五八、四八〇

後期繰越金
右之通リ候也
大正拾五年七月
株式會社平銀行
專務取締役　山崎與三郎
頭取　木村清治
常務取締役　堀江正直
取締役　高岡唯一郎
同　白井博之
取締役　新田目善次郎
常任監査役　安島重三郎
同　吉田禮次郎
監査役　馬目善次郎
追テ取締役全員滿期改選ノ處孰レモ再選重任ニ決セリ

注目に價する 磐城共濟會

是又地方民衆の敵？

磐城共濟會は資本金十萬圓を以て病院設立に始り全郡に亘り數千人の地方民より靈細なる據金と稱して博士を看板に基金募集に努め今日に至つたのであるが病院建設以來重役連即ち幹部連中にて兎角紛擾絶えず遂に病院の經營難を傳へらるゝ無樣な狀態であるが益々其内訌も濃厚に幹部一部のもの到底從來の方針にては向上發展覺束なゝ經營困難の結果會員相互の一大痛恨であり醫弊の大なるものを悟り會員組織を株式組織に改め既納せる會費を株金にて居る

株式に變更せんと力說するものもありたるが遂に紛爭を釀して更に何等得る處なく有耶無耶に終り今日に及んだのであるが其裏面には會長たる賀澤氏にからまる何事かがあるやに傳へられ注目の的となつてゐたが突然檢事局の召喚により會長賀澤氏と會計永山氏と取調べを受けたが詳細報導の自由を與へられざれば後日に讓るも其結果が多數に及ぶ模樣があるので一般民衆は頗る注意の眼を放つ

夏季の衛生心得

中學校醫　酒井國三郎

夏季は吾人の身体が弛緩し疾病を未發に防禦することて疾病に對する抵抗力が減に努めねばならぬ、茲に夏衰し、動もすれば種々の病の生活上恪守すべき心得をに侵襲せられ易い、就中最略述せん。

も多いのは胃腸病である、1 清潔第一と心得べき生從つて虎列刺　腸窒扶斯　赤活上常に密接なる關係痢の如き消化器傳染病に罹を有する衣食住の衛生る恐れがある、特に腸チブ的要件は實に清潔にあス　パラチブス　の如きは毎り、清潔を專らとすれ年地方的に流行しつゝあば病に罹る機會少く同るから諸君は能く攝生法の大時に精神も淨化せらるる意を知悉して自衛の道を講べし

じ強大なる抵抗力を養成し暴飲暴食を愼むべし。

て常に健康を保持し、以て諺『胃の腑に克つ者は凡てに克つ』假令滋養に富むも度を過ぐれば却つて害を釀す

生水生牛乳必ず一旦煮沸して飲用すること、水に爽雜物があり又病原菌や寄生蟲の卵がある、牛亂にも病原菌が含まれてある、但し水道の水は飲むも差閊なし

未熟又は過熟の果物は食すべからず

腐敗　異臭ある物又は酸味ある物は腐敗の兆なれば決して食す可らず、肉類の腐敗毒は假令煮沸するも燒くとても消滅する者にあらず

氷水　ラムネ　サイダー　其他消涼飲料等は混濁するもの又は沈澄あるものは飲むべからず、炭酸又は植物酸を含むものは胃腸に刺戟を與へ或る程度以上は下痢を起す

口中　齒牙　は毎朝齒磨紛、齒刷毛を用ゐ清潔にすべし特に齲齒あるものは注意せられよ、齲齒よりは種々の危險なる病を繼發する怖れあり

漬物は沸冷水又は多量の清水にて洗ふを可とす

食物は凡て能く咀嚼したる後嚥下せよ。假令消化し難き食物も能く咀嚼すれば害する事少し

間食す可らず『百の醫を招かんよりは夜食を止めよ

食事の前後には必ず手と口とを洗ふ習慣を作れ、手は如何なるものにも觸れ、又口は塵埃を吸ひ込む故兎角不潔となり齒間の殘渣は腐敗し易し

爪と頭髮は常に短く切り清潔を保つべし

爪の汚垢中には幾多の有害黴菌を保有す

入浴と冷水摩擦　毎朝冷水摩擦を行ひ又時々入浴すべし、冷水摩擦は皮膚を强健にし感冒を防ぎ、入浴は身体を清潔にし血行を旺成ならしむ

臺所は吾人の生活上必要なる場所なれば通氣採光に注意し常に乾燥せしめ清潔なるを要す

井戸の浚渫及流し口下水溝等は掃除を怠る勿れ、井戸の近傍には汚穢のものを放棄し又は洗濯等す可らず、下水及不潔の水溜には石油乳劑（二十五倍）を時々搬布すべし

蠅蚊の駆除を怠る勿れ、蠅は特に『コレラ』『チフス』赤痢等の病毒傳染の主なる媒介者なり、飲食物及其器具は蠅帳器に入れ又は被蓋物を用ふべし

塵芥溜の清潔に注意せよ塵芥は成可く燒棄てよ、塵芥其他馬肥等の堆積する處は蠅又は蚤等の好繁殖所である

一週間一回位に百倍の石油乳劑を搬布すべし（石油一勺石鹼未四匁五分水一升を攪拌して造る）

圊厠其他不潔なる場所には時々石灰乳を撒布すべし。（石灰乳は生石灰一分、水九分を溶かしたるものなり

毎朝夕怠りなく屋の内外を掃除せよ、掃除は戸障子を開放し日光の射入と新鮮なる空氣の流通とを良くすべし

『塵無き床には醫者來らず』日光は殺菌の効多く空氣の更新は室内を乾燥せしむ『日射し良き家には病人なし』

濕地の家には醫者來る

掃除には成るべく塵拂を用ゐず濕雜巾を堅く絞り杜鵑居廊下等を拭ふべし、塵拂は却つて塵埃を飛散せしむる虞あり

疊は時々日光海毒をなし同時に床板二三枚を剝ぎ床下に空氣を通すべし

寢具　蒲團　枕　シーツ　等は毎朝日光に暴らし乾かすべし

親衣　袴下　シャツ　靴下　等は時々洗濯して清潔にせよ

夏期は成るべく早起し適宜の戸外運動を試み午睡は戒めよ『常に休息すれば倦む』

日中外出の時は必ず帽を戴き日射病を避くべし

睡眠睡眠中は寢冷せざるやう胴卷を使用するを可とす寢冷は感冒を病を起すことあり

水泳不潔なる河海沼澤等にて遊泳す可らず、皮膚病、十二指腸虫、其他寄生虫に罹る恐れあり

以上

全國消防組頭會議開催

九月廿四五兩日　青山青年會館で

本縣平消防組頭縣會議員井上茂作氏の主唱に係る全國消防會設立の議は松井法學博士等の賛成を得て内務省警視廳當事者と折衝を重ね議を開催する事になつた。

メートル法宣傳に活動寫眞や展覽會開催

本縣度量衡計量器販賣者は平警察署樓上に總會を開き其役員に左記の諸氏を擧げ八月十日より十二日迄（三日間）メートル展覽會及びメートル宣傳活動寫眞會を催する事となつた會場は舊郡役所公會堂である

會長　諸橋　久太郎
副會長　鈴木　堅助
會計　新妻　盛
　小野常治
　坂田藤助
委員長　關内正一
委員　瀬尾善三進
　宗像國治
　堀喜一
　山野邊東二郎
　外十三名

善行美談

を募集します、隱れたる特志家、例へば、孝行とか、勤勉とか、社會事業に功勞あるもの其他あらゆる方面でいろ〳〵な仕事をして居る人の成功談とか其他此れに類似せるものを御送稿して下さい

東北實業新聞社

投稿係り

株式會社磐城銀行
改稱第拾六回
大正十五年上半期
決算報告

借貸對照表

負債ノ部

資本金	八五〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	五八、〇〇〇、〇〇〇
諸預リ金	六六三、三六九、五五〇
爲替借	四六、二四五、六四〇
未經過利益	一五、六八七、七七〇
未拂割賦金	五七三、二六〇
當期純益金	二六、五〇二、一四〇
合計	一、六五八、三七八、三六〇

資產之部

未拂込資本金	六〇〇四、五〇〇、〇〇〇
諸貸出金	八六五、六八三、九九〇
割引及荷附手形	四二、八二九、五〇〇
爲替貸	一、七九一、一三〇
國債及所有物	八〇、一五五、〇〇〇
預ケ金及現金有高	五三、四一八、五四〇
合計	一、六五八、三七八、三六〇

利益金勘定

當期純益金	二四、一五〇二、一四〇

之レヲ處分スルコト左ノ如シ

法定準備金	二、〇〇〇、〇〇〇
特別積立金	二、五〇〇、〇〇〇
重役賞與金	四二七六、四〇
株主配當金	九、五七四、五〇〇
後期繰越金	一〇、〇〇〇、〇〇〇

右ノ通リニ候也

大正十五年七月

株式會社磐城銀行
專務取締役　中野甲藏
取締役　西岡　重好
同　小野　靜重
同　薗田　嘉藏
監査役　明智　淺吉
同　大谷　喜作
相談役　鈴木　堅助
同　森本　盛一

事業界

金融界の花形

現在の

磐城銀行

は新進氣鋭の人物を其の要樞に据えてゐる、專務の筆頭は、圓滿にして敏腕の聞ゐある

白井一郎

氏で其の左右兩翼の觀あるは支配人

草野順平氏

副支配人

麻生川顯氏

の二人である、彼等二人は磐銀の改革者たる靈腕辣手の白井博之氏に拔握せられ現在の重職に克ち得た新智識である、白井頭取の農銀入り後は　白井專務の双翼となつて、ます〳〵發展の策を講じてゐる、磐銀の花形と云へば、先づ此の二人と、夫れに營業部長の佐々木龍若氏を擧けねばならぬ彼は町會議員の名譽職にあり正義公道に立脚して町政の進歩發達に終始して居る次は

磐越銀行

の

瀧澤俊平氏

であるが彼も元は磐銀の一小行員であつた、普通行員の平坦な路を歩んで來たのに比すれば、難關を蹴破し來つて始めて廣野の道に出でた程の相違はある、人間の出世は、其出立點の如何には依らぬ、其運命と、努力との如何に因るのである瀧澤氏は愛嬌があつて、初對面の人にすら不快感を與へぬ。誠に如才のない銀行家である、輕薄だと非難する者もあるが、交際上手と輕薄とは自ら違ふ、輕薄とは操守の確くないこと、其態度の輕兆浮薄なことである、無愛嬌の人にも輕薄な者はあるが、愛嬌の人でも輕薄で無い者は幾らもある彼の如きは、即ち後者に屬する、銀行家としては、趣味もあり、手腕もあるので外交方面の適材である、曾つて記者と對話の時彼の日常の精神は自己を捨て顧客本位と株主に忠ならんとするにありと、之を見ても、彼れの適材の那邊にあるかが分るのである、各方面の取引に重きを置いて、自分で華客廻りをして擴張した結果が現在の好成績を擧げた一因ださうである。事務を執ることが敏捷で、眞面目で、頭腦も散漫でない、夫れに如才なく勤勉家であるから將來は一方の覇權を握る傑物である事は喋々の用はない。

磐城實銀

の

鈴木源造氏

彼は今や同行の支配人に昇任して大に其手腕を試みつつあるのである、現專務鈴木辰三郎氏が深く其材幹の用ひるに足るべきを知つて彼を登用したのである、彼れの材幹は、鈴木專務の女房役として其の光彩を發揮したのである、彼れは明敏果斷、業務を刷新するの手腕を持つてゐる、單に舊套を死守する人ではなく、假令夫れを守るにしても、自分の考慮を加へて、多少の改善を施しつつ守る人である鈴木專務の氣風に化されてゐる事は何人も認める所であるが、彼は其下に在つて幾分づつ新空氣を流入したのである、支配人として申分のない思慮周密が表はれて居る、才氣て任せて横柄に振はず、交際振が圓滑であつて、冷酷性を露出しない爲めに受けが好い。

平銀行

の

端山正男氏

彼は其人格に於ては世間に毀譽紛々たる人であるが、兎に角銀行家として一方の一因ださうである。事務旗頭である事は一般に認められてゐる、天才か、非天才か、それは別として、彼れが銀行界に於ける今日の活躍振りを見れば、誰れしも其傑物たる事を否み得ない、殊に近來彼れが德望を得るに汲々とし稍々人格の完成に努めて居る跡のあるを見れば、彼れが一般碌々の徒と異なる所が明かである、彼れの今日迄の道程を見るに刻苦奮勵、具さに艱苦を嘗めた同銀での一大功勞者である。

彼は稚氣の多い男ではあるが、其實正直な、案外無邪氣な處のある男である、非常な精力家で且つ勤勉家であることは言ふ迄もないが亦公共的事業に對する趣味も少くない、此點は世間で誤解して居る向が多いやうに思はれる。

醫師類似の療法が益々流行

取締上警察の眼が光る

療法、紅療法其他醫業に紛らはしい行爲の營業者が近頃益々殖ねて來たので、取締上警視廳が最近調査の步を進めて居る同時に政府に於ても其弊害を認め各府縣に通じて全國一齊に其取締を嚴にする模樣であるが當町にも違犯者が一二あるらしい、是等術者の前身を調べて見ると僧侶上りだどか催眠術を道樂半分にやつたのが本職になつたとか中には更に進んで電氣を應用する智能を要する程度のものもある、病苦に患む弱者を甘言を以て引入れ非法的の行動をやる向もあるので是等不正分子を一掃する考であると。また

整骨療院

なるものは或る一定の患者に向つて施術する業で柔道家に特に免許せるものであるが是とて醫師類似の手術が出來ない筈である然るに醫師同樣に患者を扱ひ爲めに醫療の時期を失ひ熱發繼續數日に亘り遂には併發病のため取返しの付かぬ狀態に陷る等の悲劇を演ずることも屢々耳にする處であるが此種の業者も注意すべきである既に大日本醫師會には問題として考究中である或る醫師の如きは整骨院より一定の報酬を得て通院治療しつつあるやに聞くに至つては醫弊も甚しいではないか。

暑中御伺ひ申上ます

平藝妓屋組合

藝妓連一同

本社　東京市麹町區永樂町一、一丸の内ビルデング六五二號室

磐城セメント株式會社

工業所　■青森縣三戸郡湊町　■福島縣石城郡四倉町　電話四倉十三番

◇瓦斯入電球　期間内に廿四燭光以上の新增設又は增燭變更の方に限りマツダ瓦斯入電球を無料で貸付いたします

◇無料提供　期間内に低燭から高燭にお取替の方には五燭から百燭にお取替になりましてもお取替の日より八月卅一日まで舊料金で頂きますからお早いがお德です

◇差額料金の特典　期間内に御申込に限り取付工費は無料ですから新增設の申込は此際です

◇新設增設の工料無料　十六燭光以上の体燈點火御申込の方には八月卅一日迄一段下りの料金に割引いたします

◇休燈點火の特典

大特典提供條件

（イ）期間内に御申込の方に限ります

（ロ）大正十五年十二月末日迄繼續點火の方に限ります尙此の期間内に休燈をなさざる事及び增燭外の電燈と雖も減燭休燈等をせざる事、但し電燈料が勸誘期間締切當時の料金より減額しない場合は此限りでありません

◇申込期間　自七月十五日　至八月十四日　一ケ月間

東部電力合名會社　平營業所　電話一七六三五

增燈　增燭の御方に限り　大特典

第六拾壹期 決算報告

貸借對照表

資產之部

拂込未濟資本金	三五、〇〇〇、〇〇〇
諸貸出金	七四、八六〇、八四〇
荷爲替手形	三七、七三八、九四〇
他店ヘ貸	三、九八一、七一〇
奥羽銀行同盟會基本金	三五〇、〇〇〇
諸營業用土地建物什器	一三、五一三、一五〇
所有動產	二〇、四一八、六〇〇
不動產	三、七一一、六八〇
預ケ金及現金	五、〇〇四、六七〇
計	一、三七四、〇八九、六九〇

負債之部

資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	五五、九五〇、〇〇〇
諸預リ金	五六八、一一八、五九〇
他店ヨリ借	三四、三三七、九〇〇
借入金及再割引手形	一四一、一〇〇、〇〇〇
當座預金借越	四〇、〇〇〇、〇〇〇
未拂利息及未經過割引料	九、一六八、四八〇
第二種所得稅及資本利子稅	四六七、五四〇
當期利益金	一、三七四、〇八九、六九〇
計	二五、〇五七、一八〇

利益金處分

當期純益金	二五、〇五七、一八〇
諸積立金	四、一〇〇、〇〇〇
役員賞與金	一、〇〇〇、〇〇〇
株主配當金（年九分）	六、六三七、五〇〇
後期繰越金	一三、三一九、六八〇

右之通リ二候也

大正十五年七月

福島縣植田町

株式會社 **磐東銀行**

取締役頭取　江尻　博孝
專務取締役　金成　通
取締役　金成　欣次
同　安島重三郎
同　金成　金三
監査役　岡山保治郎
同　古川　傳一
同　山野邊文雄

第十三期 決算報告

資產

未拂込資本金	三七五、〇〇〇、〇〇〇
預金及現金	三、七九、七六〇
營業用建物	三、〇〇一、七一〇
備品器機	三、四九七、六四〇
月賦償却金	六二、三一〇、七八〇
持約勘定	二四、一九七、〇四〇
他商品勘定	三七、七六、一四〇
未收勘定	一、三一七、八七〇
未決算定	四、〇七二、七五〇
合計	五二四、八八三、七〇〇

負債

資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
假受金	一、九〇〇、〇〇〇
當座借越	二、九九八、〇八〇
未拂配當金	一九一、九四〇
法定積立金	三、三五〇、〇〇〇
從業員退職手當積立金	一、三〇〇、〇〇〇
當期純益金及前期繰越金	五、一四三、六八〇
合計	五二四、八八三、七〇〇

利益金處分

一金五千壹百四拾參圓六拾八錢也	當期純益金
此分配左ノ如シ	
一金貳百五拾圓也	法定積立金
一金壹百圓也	從業員退職手當積立金
一金參千七百五拾圓也	株主配當金（年一八分）
一金參百圓也	役員賞與金
一金七百四拾參圓六拾八錢也	後期繰越金

右之通候也

大正十五年七月

磐城建物 株式會社

專務取締役　鈴木辰三郎
取締役　白井　博之
同　井上　茂作
同　山崎　吉平
同　大谷　久藏
同　柏原幸次郎
同　鈴木松之亟
支配人　井上貞治郎
監査役　安島重三郎
同　伊藤淺之助
同　岡田　治作
相談役　山崎與三郎
同　諸橋久太郎
同　金成　通

特價提供

特價廉賣

白縞　七十八錢
紺染絣　一圓廿五錢
絽羽織　四圓八十錢
松山紺絣　二圓七十錢
『三丈三尺』
着尺モス　四圓五十錢

絽小紋　御召
高貴織　絽帶
絽江戸褄　絽紋付

實用品特價
弊店特製品
仙臺正紺縞
◇二千反限り

平町三丁目

三井吳服店

電話三十八番

實株は一株より懇切に迅速に御取引致します

駒場四郎商店

御一報次第直ちに御伺ひ致します何卒多少に拘はらず御用命御利用下さい

平町田町六八
（電話四六五番）

福島縣平町

山崎合名會社

電話（營業部一〇番 醸造工場二七番）
振替東京一九七五五番

醸造元

上野車坂町四三

東京支店

電話淺草五七二八番
振替東京六八三一一番

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント株式會社
特約代理店

和洋銅鐵金物問屋

諸橋久太郎

釜屋商店

電話九番
振替貯金口座東京一〇九五六
一三九番

弊店の五大特色は
一、品質優良
二、價格最低
三、在庫豐富
四、出荷迅速
五、現金取引

第二病室增設
入院隨時

平町田町

高久病院

電話五二三番

院長醫學士　高久　忠
副院長新潟醫學士　赤羽　清
藥局長藥劑師　佐竹菊雄

內科、小兒科
花柳病科

藤沼醫院

入院應需

平町紺屋
電話（平）五〇七番

胃腸

內科專門
十二指腸虫科

平南町

松村病院

梅毒

淋病
婦人科
包茎
專門
肛門者

電話一〇七番